

学校教育目標		自ら学び、たくましく生きる、人間性豊かな子どもを育てる。		重点目標	学力の向上と思いやりの心の育成を目指す			
評価計画		重点目標		自己評価		学校関係者評価	改善計画	
重点目標		目標達成のための具体的な方策	評価指標 (成果指標または取組指標)	評価	結果 (成果と課題)	コメント		
授業	学力の向上	笹原タイムの充実 (取組内容の例示と授業補助者の確保) 学力向上プラン	市販テストで表現処理の点数が 5 %アップ(国算)	3	笹原タイムは回を重ねることに計算、漢字の得点上がり、子どもの自信になった 計画的、恒常的な取組が子どもの力を伸ばした個人差が大きくなりつつある。定着化には繰り返しが必要である	笹原タイムと先生方の研修システムの成果がよく出ている 昨年に比べて各教科とも改善しており先生方の指導に感謝します 低位時の指導の充実が必要	さらに、笹原タイムの確実な定着をめざすため、職員への研修を増やす。 笹原タイムの表現力への取り組みが図られるようさらに例示活動を展開する。	
		算数を中心にした校内研究の効果的な実施 (実質数値の向上をめざす校内研究)	市販テストや学力テストの数値が全国平均を目指す	4	単元テストの前にミニテストを行ったり、テスト後は必ず書き直しをする取組で数値が上がった 文章題を読み解くための力をつけるような教材を工夫する	一人一人の弱い所をきちんと指導して頂いているようだ	学力テスト B 問題への対応のあり方を研究する。 本年度同様、実質的な学力の向上を校内研究で目指していく。	
	対話・表現する力の育成 (算数)	見通す段階を重視し、解決の手立てがわかる (習得)	数学的な考え方の数値が 1 ポイント以上向上	3	見通す時間を大事にしたことで、既習学習を生かすことができるようになった 問題文や絵図を関連させた説明ができる子が増えた 問われていることをしっかり把握させる手立てを工夫する 問題文をよく読んで考える習慣づくりが必要	各学年ともよく伸びています。	来年度は、国語科を中心に行うので、目的的に学習に取り組むためにも、見通すという考え方は大事にしたい。 単元計画をしっかりと見据え、目的意識をもった読みをさせていきたい。 論拠をしっかりとさせた発言 (表現) の力を伸ばしたい。	
		見通しを生かした説明の仕方がわかる (表現)	授業の後の協議で、児童の表現の確かさを評価 論拠を明確にした発言	3	自分なりのノートの工夫がみられ発言数が増えた「～だから～です。」という発表の仕方を身につけさせる為のスキルの活動の充実が必要			
		交流の時間を生かすな学びの育成	小グループの中での発言の数 (各個人) 友達の意見を生かす	3	友だちの意見をしっかりと聞いて理解しようとする態度が身についた ともだちへの思いやりのない発言がまだ多い		グループでの読み、グループでの考え方の交流など、国語科に沿ったグループ活用を図りたい。	
	思いやりの心の育成	いじめのない学校作り (生活アンケートのチェック、いじめチェックリストのチェック、面談等の実施)	生活アンケートではリーダーチャートが各項目 1.0 以上を目指す	3	アンケートを活用し、その結果より個別に話を聞いたり、指導したりして、いじめのない学級づくりを努めた 特定の子どもに対して厳しかったり、注意が集中したりするので声かけの仕方を工夫する	早期発見・早期対応をお願いします	相手を大事にするという観点から、相手の話をしっかりと聞く態度の育成 きまりを守るとみんなが安心して学級生活ができるという考え方を知らせる。	
		丁寧な言葉づかいとあいさつの定着	月目標での明確化	3	月目標の反省について、80%以上の子どもが達成できた 日常的に君さん呼びが定着している (教師も意識した) 生徒指導担当を中心とした指導体制が整ってきた くん、さんづけがまだ十分にできていない 各学級での対応にばらつきがある	保護者の地域に対する態度、挨拶ができていない 学校内だけではなく家庭生活での言葉使いが大切です	ていねいな言葉遣いの実例を例を出しながら、指導する。 月目標に例示していく。 あいさつの大事さ、地域の方への感謝の表し方を朝会で知らせていく。 地域の方の本校児童の挨拶の実態への評価を知らせていく。	
	生活評価	全校朝会、集会での指導、評価	地域との連携	地域からの評価を入れていく (連協会議などから)	3	挨拶についての話を朝の会や帰りの会で話すように心がけている 「進んで」、「自分から」が難しい子がいる	保護者が地域に対して本当によくしてもらっている感覚がない	校区運営協議会などで、本校児童の実態をお聞かせいただく。
			家庭学習の習慣定着	家庭学習ノートの点検と家庭学習の定着率の向上 80%の児童に数値を達成させる	4	ほとんど毎日、書く習慣がついたが 3～4人は忘れがち 家庭の協力が得られスムーズに行うことができた 学習習慣は身につけているが、丁寧さ等をもっと向上させたい	定期的な点検は保護者への啓発が必要	家庭学習習慣の実施と家庭学習ノートの取り組みをたいへん効果的だったので、次年度も取り組みたい。 家庭学習のいろんな取り組みを他の児童に知らせる機会を作りたい。
			外遊びの励行	80%以上の児童が運動場で遊ぶようになる	4	昼休みは殆ど 100%外で遊んでいる 週に 1 回学級で遊ぶ日も行った 担任などのこまやかな声かけが必要		休み時間を活用した学級遊びの工夫などを検討したい。 ボールなどの使い方の指導が必要
体育学習の活性化	実質的な運動の時間の確保 運動能力テストの実施による体力の監視	運動能力テストの分析 (昨年度より向上していること)	3	体育の準備運動の中にサーキットトレーニングを取り入れ、運動量の確保を行った 運動能力テストの結果を生かした指導法を具体的に見つけていなかった	運動前後のストレッチ体操が必要です	運動能力テストの毎年の実施 運動能力の落ち込みに対する改善点の共通理解 運動時間の確保と体育授業の研修		

4 : 目標達成 ( 8 0 % 以上 )      3 : ほぼ達成 ( 6 0 % ~ 8 0 % 未満 )      2 : もう少し ( 4 0 % ~ 6 0 % 未満 )      1 : できていない ( 4 0 % 未満 )

領域	評価計画		自己評価		学校関係者評価		改善計画
	評価の観点	評価指標 (成果指標または取組指標)	評価	結果(成果と課題)	評価	コメント	
総合的な価値	教育課程・学習指導	○年間指導計画や週案の作成	・作成状況				
		○指導構造の工夫改善	・移行措置内容の把握と指導 ・計画的な板書計画 ※めあて、まとめの板書実施 ・国語、算数の総合学力値の全国平均の達成努力	3	○週案の作成、移行措置の指導など欠かさず取り組んだ。また、休み時間を使って補充指導を一年間行った ○読書は100冊を全員がクリアした(1人平均187冊) ●移行措置の部分の指導が不十分だった ●読書活動の取組は学年によって取組のが徹底していなかった。 ●放課後の個別指導が軌道に乗れば苦手なこの底上げができる	4	○教育指導計画に従って、計画的に指導して頂いているのがよく分かった ○移行措置の実施についての検証を再度行い、確実な新指導要領への移行を行う ○本校作成のカリキュラムの中で、総合的な学習の時間の計画や英語活動のカリキュラムなど、無理がなく観点に沿った計画かどうか見直す
		○総合学習・生活科の充実(伝えるを重点)	・相手意識や目的意識を明確にした実践				
		○読書活動の充実	・100冊読書推進				
		○個に応じた指導の工夫	・放課後の補充指導				
	生徒指導	○いじめ、不登校への組織的対応	・生活アンケートの実施と教育相談の取組		○不登校の心配のある子どもの親と協力し、その子の不安を取り除くことができた。現在も継続して連絡している ●人間関係をよりよいものにすることが十分できなかった。ソーシャルスキルトレーニングを行い改善を図っている	4	○学校での指導にも限界があり、やはり家庭との連携が特に大切と感じます ○学習規律の徹底など、学級学校の決まりを守ることの意義を教える ○積極的な生徒指導を展開する ○新生活アンケートの実施 ○CSSなどを年間計画に入れ込む
	○問題行動への対応	・報告、連絡、相談の迅速化 ・家庭や関係機関への対応	3				
	○積極的な生徒指導の推進	・授業を中心にした子どもの人間関係づくりの充実化					
価値	保健管理	○保健管理体制の充実	・児童を対象にした健康管理体制の確立 ・日常の健康観察や疾病予防、校内事故への迅速な対応	3	○校内事故等発生時、全職員、児童、皆協力して迅速な対応ができた ●行事などがあったとき、健康観察の提出が遅れがちである	3	○小川先生の対応は、いつも感謝しています ○日常の点検活動の徹底
	安全管理	○安全対策	・施設設備の安全点検と改善 ・通学路の安全点検の実施 ・集団登校の円滑な実施	3	○安全点検を受け、きちんと対応して頂いた ●集団登校に遅れる子どもの対応	3	○日常点検の徹底
	特別支援教育	○個に応じた指導	・個別の指導計画や特別支援計画の作成と実践 ・通常学級の児童との交流学	4	○個別の指導計画を立て実施していった。 ●学級の中にいる配慮を要する子どもへの支援の充実	4	○個別指導計画に合わせた日常の指導の実施 ○さらなる専門機関との連携
	組織運営	○校務分掌の効率化 ○会議の効率化 ○財務執行 ○服務	・稟議体制の推進 ・終礼や職員会議の充実 ・学校予算の計画的運営 ・服務の適正化	3	○提出物は早めの処理を心がけた ○学期末の反省を生かして朝礼を入れてもらって、連絡が行き届いた	4	○学校運営への参画意識の高揚のための役割意識を明確にする ○各主任の目標設定と実施の見届け

自己評価 4：目標達成(80%以上) 3：ほぼ達成(60%~80%未満) 2：もう少し(40%~60%未満) 1：できていない(40%未満)  
 学校関係者評価 4：自己評価は適切である 3：自己評価はほぼ適切である 2：自己評価はあまり適切でない 1：自己評価は不適切である

	領 域	評価計画		自己評価		学校関係者評価		改善計画
		評価の観点	評価指標 (成果指標または取組指標)	評 価	結果 (成果と課題)	評 価	コメント	
総 括 的 な 評 価	研修	○授業改善	・講師招聘の授業研究会の実施 ・学級訪問による授業協議会 ・テーマの日常化の取組 ・校外研修の参加	4	○講師を招聘して計画的に授業研究会を行い授業改善につながった ○昨年に比べて授業改善を意識している職員が多い ●テーマの日常化を育成計画を中心に行ったが不十分だった	4	○先生方の指導法研究により、確実に結果が出たと思います	○若手教育の研修の活性化 ○研修してきたことを他の教師に伝えてような機会を作る
	教育目標・学校評価	○教育目標の設定  ○自己評価の実施  ○学校関係者評価	・児童や学校の実態をふまえた目標の設定 ・重点目標の妥当性 ・実現のための具体的手だて ・自己評価表の項目設定 ・全職員による評価の体制 ・外部アンケートの実施と活用状況 ・学校関係者評価の次年度への活用状況	3	○全員で話し合って実態をふまえた目標ができている ○協力してよく頑張った ○子どもの実態をみると重点目標は妥当と考える ●児童の実態把握をもっと詳しく行い、指導に生かせるようにしていきたい ●自己評価の項目を日常の指導に具体的に反映していけるような内容にする	3		○学力の向上が学校としては大事な命題ではあるが、心の育成と体力の向上もバランスのとれた教育をする上からも大事
	情報提供	○学校公開	・学校だよりや学級たよりなどによる情報提供 ・地域や保護者への学校公開の行事 ・ホームページの活用	3	○学級だよりを出して、学校での様子知らせようとした ●どれだけの関係者がホームページを見ているのか不明	4		○学校だよりはできるだけ定期的に出すようにしたい ○Mボードの出し方をもう少し増やすようにしたい。
	保護者・地域住民等との連携	○双方向交流	・学校行事等への参加状況 ・地域人材、教育資源の活用 ・PTAや地域団体との連絡の充実	3	○もちつき大会等の行事に参加した ●定期的に保護者と担任と懇談できる場が必要	4	○しっかり取り組んでいると思います	○地域の活動と学校とのあり方を融合性を図りたい。
	教育環境整備	○施設・設備  ○教材・教具等	・施設、設備の活用状況 ・安全、維持管理のための取組状況 ・設置者と連携した教材、教具、図書の整備状況	3	●教材が思うように揃わない(特に新しい単元)	3		

自己評価 4 : 目標達成 (80%以上) 3 : ほぼ達成 (60%~80%未満) 2 : もう少し (40%~60%未満) 1 : できていない (40%未満)  
 学校関係者評価 4 : 自己評価は適切である 3 : 自己評価はほぼ適切である 2 : 自己評価はあまり適切でない 1 : 自己評価は不適切である